

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を！

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2024年5月号(年3回発行) 第165号

未来に向かって大きくはばたけ

国際子どもクラブには、二つの部門があります。土曜日の子どもクラブは勉学に励むすべての児童生徒が対象です。平日の子どもクラブは、義務教育年齢を超えた生徒が対象です。その中から今年は10人の高校進学者が出ました。

母の手を握りしめ教室の前で泣いていた幼かった子。突然の難病宣言で、長期間の病院生活に耐えた少年。働く両親の遅い帰りを、部屋の明かりを友に一人で待っていた少女。高校進学を胸に来日したものの、学び舎を見つけるのに一年間もかかった生徒。片道1時間の距離を、受験勉強のため毎日FICECに通い続けた生徒。

一人一人の生徒達にドラマがあります。本人の努力はもちろん、彼らを支える周りの温かい励ましの手があったからこそ、新しい一歩が踏み出されたのだと思います。

母国の他に、共に学んだ友のいる他国を知っている皆さんは、きっと心の大きな大人に成長していくことでしょう。今までの努力は、困った時には必ずあなたを支えてくれるはずです。そして、大きな分かれ道で進路に迷った時は、迷わずFICECに来てください。私達はいつでも皆さんの一番の応援団です。

この原稿を書いていた時、嬉しい知らせがまた一つ入りました。5年前、大学入学のためふじみ野市から東北地方に引っ越した大学生からです。なんと、アメリカの大学院に合格したという知らせでした。

自分らしい夢を抱いて、さあこれから未来に向けて出発です。卒業・入学おめでとう

国際子どもクラブの先生達より

(山畑博子)



総会のご案内

埼玉県指定・認定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
2023年度(2023年10月~2024年3月)総会

開催日時 / 2023年6月2日(日)13:30

会 場 / 上福岡西公民館2階集会室

バーベキュー イチゴ狩りとB.B.Qツアーに行きました

まだ少し肌寒い3月20日の春分の日、
「国際子どもクラブ」で勉強する外国ルーツの
子供たちと「日本語教室」の学習者及びその家
族、そして両方の事業に関わる数名のスタッ
フ、ボランティア、理事と一緒に秩父の小松原
レジャー農園に「いちご狩りとバーベキュー」
の1日バス旅行へ行ってきました。このイベ
ントは「連合・愛のキャンパ」の地域助成を受け、
普段教室でしか会わない子どもたち、学習者と
スタッフの親睦を深める目的で行いました。



バスツアーは初めての試みで、最初はどの
くらいの参加者が集まるかまったくわかりま
せんでしたが、家族二人まで参加可能とした
こともあってか、みるみるうちに申し込みが
増えて結局総勢58名、赤ちゃん3名を含む子
どもから大人までの大所帯となりました。

集合場所は上福岡駅西口のバスターミナ
ル。早めに行ったスタッフよりもっと早く来
て待っている人たちもいて驚きました。初め
て会う学習者さんの家族にご挨拶したり、ツ
アー参加者を見分けるための目印用の黄色い
シールを配ったり、参加者の名前と人数を確
認したりしているうちにあっという間に出発
時間が来て、全員で慌ただしくバスに乗り込
み上福岡を後にしました。みなさんが集合時
間と場所を間違えずに来てくれるかどうか、
うまく情報が伝わっているかどうかをちょっ
と心配していたのですが、杞憂に終わりました。
ところが安心したのもつかの間、なんとス
タッフが全員に配るために用意した水のボト
ルを入れた段ボール箱を駅前に置き忘れてき
た、ということに気がつき大ショック。箱は見
送りに来てくれたスタッフに連絡して、(誰に
も持って行かれずちゃんとそこにありました
よ。)FICECに戻してもらいました。

バスの中では子どもクラブの先生による司

会で、クイズ:「参加者の国籍はいくつだと思
いますか」、答えは「8つ。アメリカ、イラン、中
国、ネパール、ベトナム、フィリピン、ミャン
マー、そして日本」や、席の左列と右列に分か
れ、タオルを首に巻いて外し次の人に渡す早さ
を競うゲームをしたり、子どもたちは歓声を上
げ楽しそうでした。バスが秩父にたどり着いた
とき永田理事による秩父の紹介がありました
(秩父山は石灰岩なのでセメントを作るために
山が少しずつ削られている、秩父の名物は蕎麦
など)が、日本に来てまだ日が浅い子たちには
日本語が難しかったので、同じ言語を話す外国
人スタッフが通訳してくれたようです。



たくさん子どもたち、学習者とその家族が参加しました。全員が揃っ
ているかどうかを確認するために人数を数えるのが難しかったです。





左上／秩父についたらちょっと雨が降り出しました。左下／広い食事スペースでみんなでお昼ご飯。右／いちご狩りの様子。食べても食べてもまだいっぱいあります。

お昼前に小松原レジャー農園に到着しました。屋根のあるとても広い食事スペースに案内され、7つのグループに分かれてバーベキューのお昼ご飯を食べました。祝日ということもあり色々な団体客やグループで大にぎわいでしたので、スタッフは子どもたちがどこかへ行ってしまわないかとハラハラ…。その後全員でまともって農園内のビニールハウスに行き、いちご狩りをしました。想像していたよりずっと広くて明るいビニールハウスの中で、最初に係りの人からいちごの採り方の説明を受けて、30分間みんながそれぞれに畝を歩きながら葉っぱの下に隠れている赤くて美味しそうないちごを探して食べました。いちごは沢山あったのですが、先にお昼を食べたこともあり制限時間が来る前にお腹がいっぱいになってしまいました。

帰りはDVDを見る人、早朝からの活動で疲れてウトウトする人で、バスの中は静かでした。

本格的に雨が降り出す前に戻って来ることができ上福岡駅前で解散しました。道中少しバスに酔った子もいたようですが、その他全員怪我もなく無事に帰って来られて本当にホッとしました。

日本に来たばかりの子どもたちも何人かいて、いちご狩りはもちろん、バス旅行も初めての体験だったとのこと。いつも日本の学校に通う子どもたちにとっては同じ国の子ども同士で一日自由に話せたのも楽しかったみたいです。

「日本のいちごは美味しいし、家族みんなで参加できたから来ました。」と言っていた方もいました。みなさんが楽しい一日を過ごせたようで良かったです。

子どもたちの安全管理のことなど、終わったあとで様々な反省点もありましたが、機会があればまたバス旅行を計画したいと思います。

(小林暁美)

「東武東上線沿線日本語教室ガイド2024年度版」を作成しました

2018年に改訂版を発行した「東武東上線沿線日本語教室ガイド」は、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの日本語教室で時間の変更や休校等があり、早急に内容を修正する必要がありました。この度「連合・愛のキャンパ」地域助成をいただき、2023年度版の「東武東上線沿線日本語教室ガイド」を作成することができました。

今回の改訂では、改めて東武東上線から徒歩圏内にある日本語教室32教室選び、各団体に最新情報の提供をお願いしました。また学習者自身がこのガイドを利用できるように「英語併記」で作成しました。

このガイドは日本語教室を行っている施設や行政に配布するほか、FICECのホームページでも公開します。多くの方々に活用していただけたら幸いです。(矢澤美紀)



Cafe ficec × cotokoto (イオンタウン)

Cafe ficecがイオンタウンふじみ野のcotokotoと協力して「世界の母の味を学ぶ料理教室」のスリランカ料理を担当します。

講師はスリランカ人のナディーシャさんです。

料理を作った後は試食をしながら、スリランカについてナディーシャさんからお話を伺います。

詳細・申し込みはFICECまたはイオンタウンふじみ野_cotokotoのサイトまで。(安銀柱)



多言語情報誌

「インフォメーションふじみの」25年の歴史展 巡回展覧会

昨年ふじみ野市サービスセンターで行われた「インフォメーションふじみの25年の歴史展」を、ダイジェスト版で今年2月に富士見市、3月に三芳町でそれぞれ開催しました。富士見市と三芳町のみなさんにもFICECの活動を紹介することができました。



富士見市

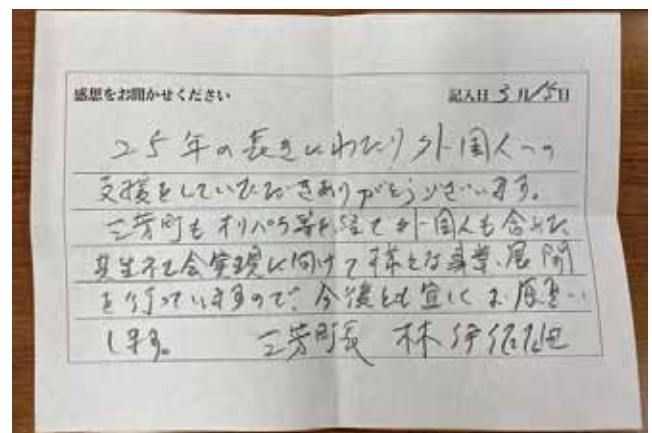
日時:2024年2月24日(土)～2月29日(木)
場所:富士見市中央図書館展示ホール



図書館やカフェに入っていくみなさんにも立ち止まって見てもらえました。

三芳町

日時:2024年3月11日(月)～3月15日(金)
場所:三芳町藤久保公民館



三芳町町長から直々の手書きメッセージをいただきました。

日本語指導が必要な児童生徒が急増しています。

在留外国人の人数は過去最多の341万人に！

3月22日、出入国在留管理庁が発表した「令和5年末現在における在留外国人数について」によれば、2023年12月末の全国の在留外国人数は341万人で、2022年12月末と比べて33万5779人増加しています。その結果、学齢相当外国人の子どもも13万6193人となり、日本語指導が必要な児童生徒数は6万人を超えると言われてしています。

日本語指導が必要な児童生徒の増加と不就学問題

文科省が昨年4月、「外国人の子どもの就学状況等調査」の結果を公表していますが、それによれば、学齢相当の外国人の子どもの人数は13万6923人います。そこで判明したのが、「学校に行っていない可能性がある子ども」が8183人もいるということでした。

埼玉県は在留外国人は23万4700人で、ベスト5

埼玉県は23万4700人で、全国5番目の人数となり、2022年12月末と比較して22,074人増加しています。併せて学齢期の児童生徒も増加しており、175人が「不就学または就学状況が把握できない」との報告もあります。

埼玉県では2022年に在留外国人の「学齢期の子ども」が11422人おり、1年間で約600人増加しています。日本語教育が必要な児童生徒数は50%と言われてしますので、約5000人と推測されます。

現状を考えれば、児童生徒のための日本語教室や取出し授業の拡充が必要です。

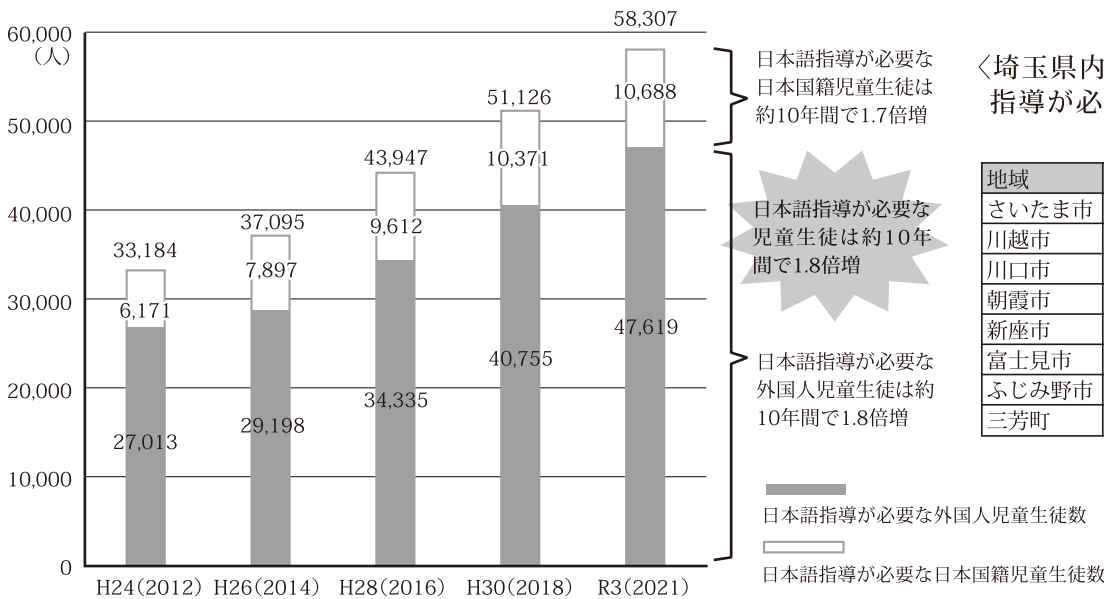
外国籍児童への学習支援の拡充が必要です。

FICECは、外国ルーツの子どもの学習支援と居場所の提供のために「国際子どもクラブ事業」を実施しています。

国際子どもクラブの教室には毎回20名前後の小

〈全国の公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移〉

(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校)

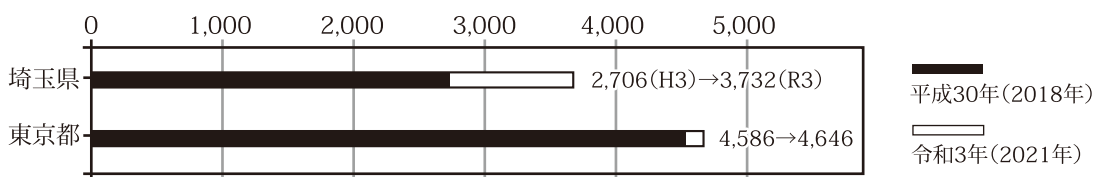


〈埼玉県内市町村で日本語指導が必要な児童生徒数〉 (令和3年度)

地域	小学校	中学校	合計
さいたま市	213	75	288
川越市	87	26	113
川口市	1072	168	1240
朝霞市	37	6	43
新座市	15	5	20
富士見市	0	0	0
ふじみ野市	33	12	45
三芳町	10	4	14

〈埼玉県・東京都の日本語指導が必要な児童生徒の学校在籍状況の推移〉

※日本国籍・外国籍合計(児童・生徒数:人)



(出典) 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

中学生が参加して、日本語の学習と教科学習に取り組んでいます。参加者の主な国は、中国、フィリピン、ネパールです。

※平日は、「大変だけど、それぞれの学校に通い、日本語に親しみ勉強して欲しい」との思いから、「FICECは土曜日だけ」としており、入りきれない日もあります。

また、高校受験に向けて「受験制度がわからない」、「日本語が理解できない」、「学力が不足」など

の理由により、高校進学ができない子どもたちへの就学支援も行っています。

FICECの事業だけでは解決できません。

急激な外国人の増加、日本語が理解できない子どもの増加、学校現場での対応の遅れを考えると「NPO法人」が対応できる状況ではありません。行政との連携、学校との連携が求められています。

(永田信雄)

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

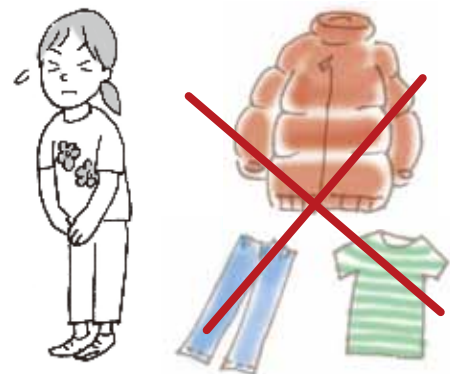
郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、
口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)
または、現金書留でお願いいたします。



おねがい

日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。
誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては
利用がないためお断りしております。
ご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。



○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2023年5月1日～2024年4月25日(敬称略)

赤羽典子、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、安銀柱、安昌美、伊藤愛、王即堯、大野渉、岡本直久、折橋美義、柏木ひろみ、片倉ミン、神田順子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、久保田正幸、久御山町議会、栗嶋三千代、栗田吉夫、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、酒井有香、佐藤義治、清水昭彦、ジャリアヌソングレット、進洗子、ゾシスザン、高橋博、高橋真梨子、武田和子、田嶋浩子、趙珉技、チンテイヴァン、塚本秀樹、デシイングワテイ、戸塚成子、永田信雄、沼田伊久俊、長谷川正江、東入間地区遊技業防犯協会、平野美芝、藤澤園子、保坂佐紀恵、水野毅、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、匿名2名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、仲野京子、野田恭三、藤井みどり、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人	国際理解教育	3,000円+事務費+税
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+税 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日+税

※別途交通費がかかる場合があります